

北東アジア動向分析

●中国(東北三省)

2020年の東北三省主要経済指標

中国国内における新型コロナウイルスが迅速かつ効果的に抑制され、2020年の中国の国内総生産(GDP)は、物価の変動を除く実質で前年比2.3%増えた。東北三省の実質域内総生産(GRP)と実質GRP成長率は、遼寧省が2兆5115億元で前年比0.6%増、吉林省が1兆2311億元で同2.4%増、黒龍江省が1兆3698億元で同1.0%増となった。東北三省は経済環境が厳しかった2020年においてプラス経済成長を達成したが、西部、南部の省の速い回復と成長とは対照的に、回復ペースは全国平均水準を下回った。東北地域の振興が喫緊の課題だといえるだろう。

三省のGRPの産業別の内訳をみると、2020年における遼寧省の第1次産業の付加価値額は2285億元で前年比3.2%増、第2次産業は9401億元で同1.8%増、第3次産業は1兆3429億元で同0.7%減となった。吉林省の第1次産業の付加価値額は1553億元で同1.3%増、第2次産業は4326億元で同5.7%増、第3次産業は6432億元で同0.1%増となった。黒龍江省の第1次産業の付加価値額は3438億元で同2.9%増、第2次産業は3484億元で2.6%増、第3次産業は6777億元で1.0%減となった。三省とも、第3次産業は他の2つの産業部門より新型コロナウイルスにより大きい影響を受けており、回復速度が最も遅いことが示さ

れた。

東北三省の工業生産の動向をみると、2020年通年の一定規模以上の工業企業(年間売上高2000万元以上)の付加価値額の増加率は、遼寧省が上半期の2.3%減から通年の1.8%増になり、吉林省が上半期の3.3%増から6.9%増になり、黒龍江省が上半期の4.0%減から3.3%増になった。さらに、2020年全国の一定規模以上の工業企業の付加価値額は前年比2.8%増加した。吉林省と黒龍江省の一定規模以上の工業企業の成長は全国平均レベルより速かったことが示された。

投資については、2020年における遼寧省の固定資産投資額(農家投資を除く以下同じ)は前年比2.6%増、吉林省は同8.3%増、黒龍江省は同3.6%増であった。固定資産投資額の産業別の内訳をみると、遼寧省の第1次産業は前年比79.9%増、第2次産業は同5.1%減、第3次産業は同4.9%増であった。吉林省の第1次産業の固定資産投資額は同68.3%増、第2次産業は同9.0%増、第3次産業は同7.1%増であった。黒龍江省の第1次産業の固定資産投資額は1.2倍増、第2次産業は同0.8%減、第3次産業は1.7%減となった。いずれの地域でも第1次産業の固定資産投資額が大幅に増加したことが示された。

消費動向をみると、2020年の社会的消費財小売総額は、遼寧省が8961億元で前年比7.3%減、吉林省が3824億元で同9.2%減、黒龍江省が同9.1%減となった。

消費者物価指数(CPI)は、遼寧省が前年比2.4%上昇、吉林省が同2.3%上昇、黒龍江省が同2.3%上昇した。

貿易動向をみると、2020年通年の輸出入額は、遼寧省が6544億元で前年比9.9%減、吉林省が1280億元で同1.7%減、黒龍江省が1537億元で同17.7%減となった。

2020年の中国東部、中部、西部の経済発展

新型コロナウイルスの影響を受けて世界経済の下振れ圧力が増大する状況下、中国が2020年通年では予想を超えるプラス成長となり、主要国で唯一プラス成長を維持した。同時に、中国の内陸各省は様々な回復および成長ペースを示した。

表2に示すように、2020年には中部は実質GRP成長率が前年比3.0%増、西部は実質GRP成長率が同3.7%増であり、東部(同2.9%)よりも成長率が高かった。しかし、2019年の実質GRP成長率と比較すると、2020年の中部の成長率は3.7ポイント減少し、西部の成長率は3.4ポイント減少し、実質GRP成長率の変動が東部(3.2ポイント減)よりも大きかった。それは、新型コロナウイルスが中国の中西部地域により大きな影響を及ぼしていたと考えられる。それでも、中西部地域は近年比較的速い成長率を維持しているため、2020年も東部地域よりも高い成長率を維持できた。特にチベットの2020年通年の実質GRP成長率は7.8%

表1

		2018年				2019年				2020年			
		中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江
経済成長率(実質)	%	6.6	5.7	4.5	4.7	6.1	5.5	3.0	4.2	2.3	0.6	2.4	1.0
工業生産伸び率(付加価値額)	%	6.2	9.8	5.0	3.0	5.7	6.7	3.1	2.8	2.4	1.8	6.9	3.3
固定資産投資伸び率(名目)	%	5.9	3.7	1.6	▲4.7	5.1	0.5	▲16.3	6.3	2.9	2.6	8.3	3.6
社会的消費財小売額伸び率(名目)	%	9.0	6.7	4.8	6.3	8.0	6.1	3.4	6.2	▲3.9	▲7.3	▲9.2	▲9.1
輸出入収支	億ドル	3,517.6	▲162.6	▲103.6	▲169.0	4,215.1	▲142.0	▲94.6	▲166.4	5,350.3	▲189.4	▲106.8	▲124.6
輸出伸び率	%	7.1	5.7	8.8	▲16.7	0.5	▲2.6	▲0.6	18.8	3.6	▲15.3	▲10.3	3.2
輸入伸び率	%	12.9	16.8	8.5	56.5	▲2.8	▲5.0	▲5.7	4.2	▲1.1	▲5.8	1.1	▲22.5

(注)前年比

工業生産は、一定規模以上の工業企業のみを対象とする。2011年1月には、一定規模以上の工業企業の最低基準をこれまでの本業の年間売上高500万元から2,000万元に引き上げた。

2011年1月以降、固定資産投資は500万元以上の投資プロジェクトを統計の対象とするが、農家を含まない。

2018年以降の貿易データは公表値が元建てであったことから、輸出・輸入の伸び率は公表されている元建て数値の伸び率、貿易収支は元建て貿易収支の数値を人民銀行公表の期末為替レート(2018年12月末:6.8632、2019年12月末:7.0128、2020年12月末:6.5434)によりドル建てに修正したものである。

(出所)中国国家统计局、商務部、遼寧省統計局、吉林省統計局、黒龍江省統計局ウェブサイトならびに黒龍江日報、遼寧日報、吉林日報、人民銀行の資料より作成。

となり、昨年中国で最も成長率が高い省であった。それは、1999年以来実施された西部大開発戦略の経済効果の現れだろう。

つまり、中国政府の政策などの支援により、西部地域が次の段階で中国の新たな成長点になる可能性が高いことを示している

だろう。

ERINA 調査研究部研究員
董琪

表2

東部省	2020年 名義GRP (億元)	2020年実 質GRP伸 び率(%)	実質GRP 伸び率の 変動(%)	中部省	2020年 名義GRP (億元)	2020年実 質GRP伸 び率(%)	実質GRP 伸び率の 変動(%)	西部省	2020年 名義GRP (億元)	2020年実 質GRP伸 び率(%)	実質GRP 伸び率の 変動(%)
北京	36103	1.2	▲ 4.9	山西	17652	3.6	▲ 2.5	重慶	25003	3.9	▲ 2.4
天津	14084	1.5	▲ 3.3	内蒙古	17360	0.2	▲ 5.0	四川	48599	3.8	▲ 3.6
河北	36207	3.9	▲ 2.8	吉林	12311	2.4	▲ 0.6	貴州	17827	4.5	▲ 3.8
遼寧	25115	0.6	▲ 4.8	黒龍江	13699	1.0	▲ 3.0	雲南	24522	4.0	▲ 4.1
上海	38701	1.7	▲ 4.3	安徽	38681	3.9	▲ 3.4	チベット	1903	7.8	▲ 0.3
江蘇	102719	3.7	▲ 2.2	江西	25692	3.8	▲ 4.1	陝西	26182	2.2	▲ 3.8
浙江	64613	3.6	▲ 3.2	河南	54997	1.3	▲ 5.5	甘肅	9017	3.9	▲ 2.3
福建	43904	3.3	▲ 4.2	湖北	43443	5.0	▲ 2.3	青海	3006	1.5	▲ 4.6
山東	73129	3.6	▲ 1.7	湖南	41782	3.8	▲ 3.8	寧夏	3921	3.9	▲ 2.6
広東	110761	2.3	▲ 3.9					新疆	13798	3.4	▲ 2.8
広西	22157	3.7	▲ 2.3								
海南	5532	3.5	▲ 2.3								
東部全体	573024	2.9	▲ 3.2	中部全体	265616	3.0	▲ 3.7	西部全体	173775	3.7	▲ 3.4

(注)前年比

各省の実質GRP成長率は各省の統計公報の速報値であるため、それらの加重平均は全国平均実質GDPの伸び率と一致していない。

(出所)中国国家统计局、各省の2020年度の国民経済和社会发展統計公報より作成。